

CS だより

第6号 令和5年9月

浜松市立積志中学校
CS コーディネーター
岡本 知之
CS ディレクター
北寒寺 知子

【第2回学校運営協議会が開催されました】

9月4日に第2回学校運営協議会が開催されました。協議会では、今年度を実施した2つの具体的な取組に関する報告が行われ、それらの成果と課題について話し合いました。また、部活動の地域移行についての意見交換も行われ、この校区に休日の部活動指導ができそうな人材がどの程度いるのかの調査を行うことが決定しました。

詳細につきましては、積志中学校のホームページで学校運営協議会の議事録を公開しておりますので、ぜひご覧ください。

【学校運営協議会の取組についての報告】

今年度、実施した2つの取組について報告します。

① 「夏休み学習室」の開設、学習支援ボランティアの募集

「夏休み学習室」を開設するにあたって、学習支援ボランティアの募集を行いました。それらを全校生徒、地域に広報するためのポスターは、積志中美術部の生徒が制作をしてくれました。そして、さくら連絡網や地域の回覧板を使って地域全体に呼び掛けるだけでなく、学区内にある高等学校、大学の協力を得て、高校生、大学生に対しても呼び掛けを行いました。その結果、「夏休み学習室」には100名を超える中学生と、総勢30名（地域住民・保護者：13名、高校生：17名）のボランティアが参加してくれました。

どの生徒も、ボランティアの方々のアドバイスを聞きながら、夏休みの課題に熱心に取り組んでいました。参加した生徒からは、「わからないところを丁寧に優しく教えてもらった」「自分だけで勉強しているとすぐに諦めてしまうのでとても助かった」などの肯定的な感想が多く聞かれ、この取組に対して大きな成果があったと感じました。また、ボランティアの方々からは、前向きなご意見を多数いただきましたので、それを改善が必要な点として受け止め、来年度はさらにバージョンアップした取組にしていきたいと思えます。



② 祭典用法被の寄贈依頼

これは「体育大会のソーラン節で使用する法被の準備に苦慮する家庭が多くなってきているという状況があるので、地域の力を借りることはできないか」という学校からの要請を受けて行った取組です。さくら連絡網と地域の回覧板を使い、地域全体に法被の寄贈依頼を行ったところ、予想以上の反響があり、29人の方から合計78枚の寄贈がありました。そして、それらの法被には、番号のタグが積志中カルチャー部の生徒の手によって縫い付けられています。

体育大会当日は、この法被を着た中学生の躍動する姿を見られるのが楽しみです。



今回の学校運営協議会の取組にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。